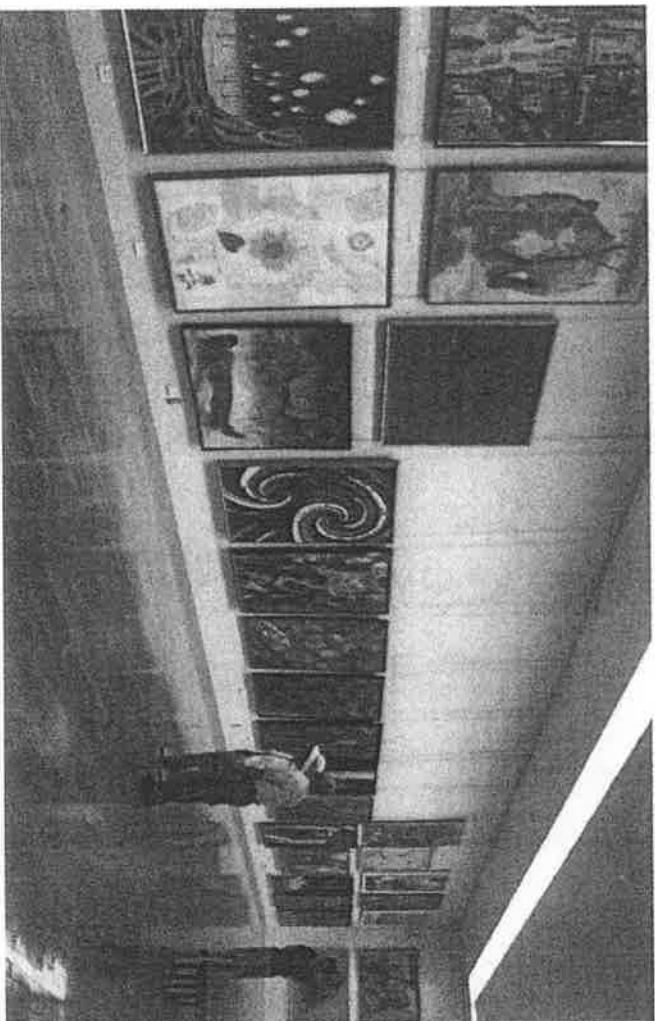


熊本県美術協会



概要

設立年月日 昭和21年12月

会長 坂田 燦 (さかたあきら)

住所 熊本市出仲間2-5-6

主な活動地 熊本市内

地域文化活動部門

熊本県美術協会は、終戦後の荒廃した郷土に美術文化の復興を折念して、伊藤直臣氏、岡周末氏、坂本善三氏、中根宏氏、田島龜彦氏、内尾雅恵女史、宮崎精一氏らを中心とする二十名の美術家によって結成されました。

昭和二十一年十二月、当時の第一高等女学校講堂で第一回目の美術展を開催して以来、県美術文化の振興と発展、後進の育成を目的に年一回の展覧会を開催し、今年で六十二回目の開催を迎えるに至りました。

設立当初は、洋画・日本画・彫刻の三部門でしたが、昭和二十九年には版画部門を、翌三十年には工芸部門を、昭和三十三年には商業美術部門(昭和五十一年より「デザイン部門」に改称)を新たに加えた六部門で、在野の自主団体として互いの表現の主義主張や個性を尊重し合い、常に切磋琢磨しながら県の美術文化の振興と後進の育成に尽力してきました。

近年は、高校生・大学生から「高齢の方まで幅広い感性豊かな作品が多数出品されるようになり、「県美展」が総合美術としては県下唯一の公募展として定着するとともに、若手美術家の重要な発表の場になっています。

当協会は、地域の芸術文化活動の発展に大きく寄与しています。

これまでの活動歴

昭和二十二年 二十名の会員により熊本県美術協会を

設立

昭和三十年 第十回記念展開催(鶴屋六階ホール)

昭和四十年 第二十回記念展開催(大洋七階ホール)

昭和五十年 第三十回記念展開催(熊本市民会館)

昭和六十年 第四十回記念展開催(熊本県立美術館)

平成七年 第五十回記念展開催(熊本県立美術館)

選抜巡回展荒尾展・八代展開催

平成十七年 第六十回記念展開催(熊本県立美術館)